

参考資料 用語集

あ行

アメニティ	快適な環境。快適性。
エコツーリズム	観光や旅行を通じて自然保護や環境保全への理解を深めようという考え方。エコロジーとツーリズムとを組み合わせた言葉。
AI	人間の知的ふるまいの一部をソフトウェアを用いて人工的に再現したもの。「Artificial Intelligence」の略。
SNS	個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援するインターネットを利用したサービスのことで、「Social Networking Service」の略。
延焼遮断帯	大規模な地震等で市街地大火を阻止する機能を果たす道路、鉄道、公園等の施設や、沿線の範囲に建つ耐火建築物で構築される帯状の不燃空間。
オープンスペース	都市または敷地内で、建造物の建っていない場所、空き地。

か行

合併処理浄化槽	公共下水道、農業集落排水施設などが整備されていない地域において、水洗トイレからの汚水や台所・風呂などからの排水を微生物の働きなどを利用して浄化し、きれいな水にして放流するための施設。
管理不全空家	維持や管理が適切に行われておらず、人の生命若しくは身体又は財産に被害を及ぼすおそれのある状態にある空家。
既存ストック	今まで整備されてきた道路、公園、下水道等の都市基盤施設や、住宅、商業施設、業務施設、工業施設などを指す。
狭隘道路	幅員が狭く、救急車や消防車などの通行が困難な道路。
緊急輸送道路	災害時に、避難・救助、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線。
グリーンツーリズム	都市住民が農業体験等を通じ、地域の歴史、自然、文化、人々との交流を楽しむ余暇活動。
公共下水道	市街地の下水（雨水と汚水）を収集排除する施設。汚水処理には、市町村独自の終末処理場で処理し、河川や海域などに放流する公共下水道と、流域下水道につないで処理する流域関連公共下水道がある。

国土強靱化	災害や事故などにより致命的な被害を負わない強さと、速やかに回復するしなやかさをもつ強靱な国土形成及び経済、暮らしづくりのこと。
コミュニティ道路	歩行者の通行を優先した道路。
コンパクト＋ネットワーク	人口減少・高齢化社会の中でも、安心・健康・快適に生活でき、財政面及び経済面においても持続可能な都市を目指し、医療・福祉・商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできるような都市構造。

さ行

市街化区域	市街地を形成している区域及び概ね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。
市街化調整区域	市街化を抑制すべき区域。
自然公園区域	優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、国民の保健、休養及び教化に資することを目的として指定される区域のこと。菰野町では、鈴鹿国定公園が指定されている。
自然増減	出生・死亡による人口の増減。
社会増減	転入・転出による人口の増減。
準都市計画区域	積極的な整備、開発及び保全を行う必要はないものの、一定の開発行為や建築行為がある区域で、そのまま放置すれば、将来における一体の都市としての整備、開発及び保全に支障が生じるおそれがあると認められる一定の区域。
ストック効果	整備された社会資本が十分に機能することで生み出される中長期的な経済効果。道路、空港、橋、上下水道、防波堤などのインフラ設備が整備されることで得られる防災力の向上、移動時間の短縮、快適性の向上、民間投資の誘発などの効果。
セットバック	良好なまちなみ景観の整備や安全な歩行者空間の確保等を目的として、道路や隣地との境界線から建築物の外壁まで一定の距離を保つこと。

た行

地区計画	地区の特性に応じ、公共施設の配置、建築物の用途、形態などの制限を行い、良好な環境の街区を形成するための計画。
着地型観光	観光客の受け入れ先が地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する新しい観光の形態。

特別工業地区	特別用途地区として用途地域内の一定の地区における当該地区の特性にふさわしい土地利用の増進、環境の保護等を図るため、用途地域の指定を補完して定める地区。
都市機能	行政、医療・福祉、子育て支援、教育文化、商業等の都市の生活を支える機能。
都市計画	農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な生活と機能的な都市活動を確保するために、土地の合理的な利用や都市の根幹となる施設、秩序ある市街地づくりの総合的な計画。
都市計画区域	都市計画を定め、実施すべき区域で、行政区域にこだわらずに実質的に一体の都市として総合的に整備し、開発し、及び保全する必要がある区域。
都市下水道	市街地の雨水を排除し、速やかに河川などに排水する施設で、市街地の浸水の解消を図ることを目的として地方公共団体が管理する雨水排水施設。
都市のスポンジ化	人口減少等の急速な進行に伴い、都市の内部で、空き家・空き地が時間的・空間的にランダムに発生し、多数の小さな穴を持つスポンジのように都市の密度が低下する状態。
土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊や土砂流・地滑りが起こった場合に地域住民の生命または身体に被害が生じる恐れがあると指定を受けた区域。

な行

南海トラフ地震	駿河湾から遠州灘、熊野灘、紀伊半島の南側の海域及び土佐湾を経て日向灘沖までのフィリピン海プレート及びユーラシアプレートが接する海底の溝状の地形を形成する区域を「南海トラフ」といい、このプレート境界で発生する地震。
農業振興地域	農業振興地域の整備に関する法律（農振法）に規定する農業振興地域整備基本方針に基づき、その自然的経済的社会的諸条件を考慮して一体として農業の振興を図ることが相当であると認められる地域。
農業集落排水処理施設	農業用排水の水質保全、農村の生活環境改善、自然環境の保全などを目的として整備しているもので、公共下水道とほぼ同様の機能をもつ施設。
農用地区域	農業振興地域整備計画により定められた農用地等として利用すべき土地の区域。

は行

パーク&ライド 自宅からもよりの駅または停車場まで自家用車を運転して行き、車を駐車場に入れてから公共の交通機関に乗継ぐ移動方式。

ハザードマップ 自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図。

付加価値額 企業が一定期間に生み出した利益。経営向上の程度を示す指標であり、営業利益に人件費・減価償却費を足した額。

ま行

モビリティサービス 自動車を移動・輸送の用途に利用するサービス的手段と位置付け、このサービスを円滑に提供するための一連のサービス。

や行

ユニバーサルデザイン 障害の有無、年齢、性別、国籍、人種等に関わらず様々な人々が気持ち良く使えるよう都市や生活環境を計画する考え方。

用途地域 用途の混在を防ぐことを目的として、住居、商業、工業など市街地の大枠としての土地利用を定める地域。

ら行

ライフサイクルコスト 建設費用のみならず供用期間における補修、改修などの維持管理費用及び最終の廃棄処分費用までを含んだ総費用。

ランニングコスト 設備や装置などを維持していくための経費。
